

「私とカメラ」

愛知県 坂井まゆ

私にとってカメラは、一番身近にあるものです。小さいころからカメラが大好きで撮るのも撮られるのも好きでした。カメラを好きになったのは、思い出を形に残すことができるからです。アルバムを見ると、

「カメラってすごいなあ」

と改めて感じて、もっとカメラが好きになります。

最近では自分のカメラを持って風景を撮ったり人を撮ったりしています。人それぞれ、ちがう視点から物事を見ていて同じ風景を同じ時間に見ても感じることはちがうのだと思います。私はきれいな物を見て素直にきれいだなと感動できる人になりたいです。カメラは私のもう一つの目なのです。

カメラを持って自分が変わったと思う部分があります。それは自分の視点です。この前家族と遊びに行ったときのことで。そこで色々な光景に出会いました。その中でも印象に残っているのは、鴨が2羽池の近くにいた光景です。カメラを持っていなかった自分だったら、

「わあ～鴨だあ」

と感じただけだと思います。しかし、その時の私は、

「2羽で何をしているんだろう。まるでデートみたいだなあ」

と感じていました。そうやって考えられたのはうれしかったし、ほんの少し楽しい気持ちになることができました。

カメラを持っていないときでも、

「この景色、こうやって見たらもっときれいだな」

など思うことが多くなりました。それからというもの、散歩や外に出歩くことがこれまで以上に楽しくなりました。そして将来はフォトグラファーになりたいという夢もできました。

カメラは私に夢を与え、もう一つの視点を教えてくれた宝物です。